

オキカのサービス拡充

沖縄ICカード(那覇市、仲吉良次社長)が発行する交通系ICカード「OKICA(オキカ)」が、16日から買い物やタクシーでも利用できるようになる。同社が12日、発表した。16日時点で那覇、浦添、宜野湾、沖縄の4市などの飲食店やクリーニング店など126店舗で利用できる。このうち108店舗では現金のチャージも可能になる。

買い物やタクシーも利用可



細はホームページで公開する。オキカは、バスやモノレールで使えるICカードで、総発行枚数は6月末で45万枚を超えた。新たにバスやモノレール以外でも利用できる電子マネーの機能を付加。200円の利用ご

店舗に設置するのほりを広げ、オキカのサービス拡充をPRする沖縄ICカードの仲吉良次社長(右)=12日、沖縄タイムス社

OKICAの利用シーンが広がる



とに1泊貯まり、ポイントは店舗やタクシー、バス、モノレールのいずれでも使える。同社は、利用できる加盟店やチャージポイントを増やしてき

今後、同じ決済端末で、カード加盟店サービスを展開する琉球銀行の協力も得て、琉銀が契約している約8千店舗にも営業する。加盟店は初年度で200~300店舗、次年度以降は100店舗ずつ増やす計画。12日に沖縄タイムス社を訪れた仲吉社長らは『県民カード』として定着させ、買い物などで助け合おうと思ってもらえるようなカードにしたい」と期待した。

らなる普及を図り、大手が決済サービスを導入しているスーパーや量販店、コンビニエンスストアでの利用にも結び付けたい考えた。